



平成20年8月8日

各 位



代表取締役社長 赤塚 彰
(コード番号4320 東証マザーズ)
問合せ先 取締役管理本部長 浅山 正紀
(TEL . 011-271-4371)

特別損失の発生及び平成20年9月期通期業績予想・配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、下記のとおり特別損失を計上することといたしましたので、その概要をお知らせするとともに、最近の業績の動向等を踏まえ、平成19年11月14日付「平成19年9月期 決算短信」にて発表いたしました平成20年9月期（平成19年10月1日～平成20年9月30日）通期業績予想並びに配当予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失の発生及びその内容

当社の連結子会社である㈱プロメディックは、ペットサイト運営事業として、ペットの医療&情報サイト「ニャンバーワン (nyan-wan)」の運営等を通じ、事業拡大を図ってまいりました。

現在のペットサイト運営事業におきましては、ペット関連事業者向け情報登録サービス「わんサーチ」事業を主力事業として位置づけ、ヤフー㈱が運営する「Yahoo! JAPAN」、㈱シーエー・モバイルが運営する「ペット辞典」等のポータルサイトやモバイル公式サイトへのコンテンツ提供を開始し、保有サイトの認知度向上や「わんサーチ」の有料登録施設の獲得に取り組んでおりました。

しかしながら、平成20年9月期において当初予定していた「わんサーチ」のサービス開始時期が約6ヵ月遅れて平成20年3月になったことや、ペット業界におけるインターネットでの施設検索サービスのメリットが十分に浸透しなかったことが営業活動へ大きな影響を与えました。有料登録施設につきましては、徐々に増加しているものの、平成20年9月期第3四半期末時点で目標を大きく割り込む状況となりました。加えて、新たな提携サイトとのシステム連携に関わる初期投資の発生や、事業拡大のために費用も増加しました。

ペットサイト運営事業の業績につきましては、改善の傾向が見られるものの、第3四半期末までの不振を受けて、平成20年9月期通期業績は売上・利益ともに当初予想を大幅に下回る見込みです。そのため、同社業績等を総合的に勘案した結果、個別決算において、純資産価値の短期的回復が困難であると判断し、関係会社株式評価損93百万円を特別損失に計上することといたしました。また、同社に対する債権についても、短期的回収可能性が低くなったことから、子会社貸付金に対する貸倒引当金繰入額295百万円を特別損失に計上することといたしました。

なお、当該関係会社株式評価損及び貸倒引当金繰入額を特別損失に計上することにより、個別業績への影響が生じますが、連結業績には影響ありません。

2. 平成20年9月期 通期（平成19年10月1日～平成20年9月30日）業績予想の修正

(1) 連結 (単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	4,370	509	498	395
今回発表予想 (B)	3,385	267	259	168
増減額 (B-A)	△985	△242	△239	△227
増減率 (%)	△22.5	△47.5	△48.0	△57.5
(ご参考) 前期実績 (平成19年9月期)	3,619	77	83	71

(2) 個別 (単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	3,700	300	300	215
今回発表予想 (B)	3,250	400	400	△78
増減額 (B-A)	△450	100	100	△293
増減率 (%)	△12.2	33.3	33.3	—
(ご参考) 前期実績 (平成19年9月期)	3,608	247	262	250

3. 修正の理由

個別業績につきましては、当社の主力事業であります電子カルテシステム開発事業におきまして、ハードウェア・部門システム等の製品販売が当初予想より低調に推移していることから、売上高は当初予想を下回る見通しとなりました。利益面につきましては、既存ユーザーのアップグレード等、利益性の高い「MI・RA・I s / EX」の販売が堅調に推移し、システムの構築及び保守に伴う売上高が増加したことなどにより、営業利益、経常利益ともに当初予想を上回る見込みです。しかしながら、当期純利益につきましては、「1. 特別損失の発生及びその内容」記載の特別損失の計上を受け、当初予想を大幅に下回る見通しとなりました。

連結業績につきましては、電子カルテシステム開発事業の売上高減少のほか、ペットサイト運営事業の業績が「1. 特別損失の発生及びその内容」記載のとおり、当初予想を大幅に下回る見込みであることから、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益のいずれも当初予想を下回る見通しとなりました。

4. 平成20年9月期 配当予想の修正（平成19年10月1日～平成20年9月30日）

(1) 配当予想の修正

基準日	1株当たり配当金		
	中間期	期末	年間
前回発表予想	—	1,000円00銭	1,000円00銭
今回修正予想	—	500円00銭	500円00銭
(ご参考) 前期実績 (平成19年9月期)	—	500円00銭	500円00銭

(2) 修正の理由

当社は、株主尊重を第一義として考え、利益配分につきましては、経営基盤の一層の強化と事業拡大に必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続して実施していくことを基本方針としております。また、内部留保資金につきましては、財務体質の強化を図るとともに、会社の競争力及び収益力の向上のため、長期的な視点で投資効率を考えて活用していく方針であります。

平成20年9月期につきましては、本件お知らせのとおり、平成20年9月期個別業績において、関係会社株式評価損及び貸倒引当金繰入額の特別損失計上を受け、当期純損失を計上する見込みとなりました。

つきましては、現在の財務状況等を鑑み、平成20年9月期の期末配当は1株当たり500円に修正したいと存じます。

5. 今後の対策について

子会社の(株)プロメディックが運営するペットサイト運営事業につきましては、引き続き主力事業である「わんサーチ」事業拡大のため、インターネットでの施設検索サービスの認知度を向上させ、有料登録施設の獲得と施設検索の閲覧数の更なる向上を目指してまいります。

認知度向上のための施策といたしましては、メディアパートナー戦略に基づくコンテンツ提供を推進します。これにより、パソコン・携帯電話・テレビ等各種端末からの施設検索の利用を促進してまいります。

営業施策といたしましては、自社の営業体制を強化した中で、グループ経営の多店舗事業者に対し効率の良い営業活動を行ってまいります。加えて、主要地域における訪問営業に実績のある企業や、全国をターゲットとした電話営業に実績のある企業と提携し、販売代理店を通じた営業活動を強化してまいります。また、ペット関連事業者に対しましては、インターネット利用の増加に伴い、広告宣伝費が安い上、その効果を測定しやすいインターネット広告のメリットを前面にアピールするとともに、クーポンサービス充実などの積極的な会員サービスを展開することで、有料登録施設の増加に取り組んでまいります。

当社といたしましては、上記施策を着実に実施することにより、ペットサイト運営事業の早期の収益改善を図りたいと考えております。

(注) 本資料に記載しております業績予想等につきましては、現時点で得られました情報に基づき算定しております。実際の業績は今後様々な要因により本資料の見通しとは異なる結果となる場合があります。

以上